

- ・男女共同参画という問題は難問であり、まず、1人1人の意識改革が必要。行政が何をやろうと1人1人の意識改革をすることは、無理であろう。まず、市組織内での改革を行うことも必要では。(40代男性)
- ・給料が上がっていかない現在、妻も働かないと子育てしていきにくい世の中であると思う。保育施設の充実など若い世代をサポートして女性が子供を安心して生み育て、仕事をしていく環境を創り上げていくことが大事だと思う。それが、生活保護費の削減にもつながっていくと思うので、市役所には保育所の増設などと、子供の時から男女平等、働くことの意味を教育して欲しい。(60代男性)
- ・男女を平等に扱うことは大切だが、性差を無視して何でも平等というのは少しちがう気がする。(30代女性)
- ・問26で〇をつけた施策の推進をお願いします。“男女共同参画”が真の目的ではないと思います。「何のために？」を忘れずにがんばっていただきたい。『皆にやさしいよりよい社会』のために多くの分野にもっと女性のセンスをとり入れる必要があるのだと思います。なので、それを阻害しているものを一つ一つ取り除いていくことだと思います。(40代男性)
- ・家庭生活においては、男女の役割は全て同じにしなくてもよいと思います。市政においては、全ての役において男女半々をめざすべきだと思います。市職員、保健師、保育師などお互い気づく面も多いと思う。(50代女性)
- ・宣言(4-1)自立し認め合い自分らしく、とありますがたがいに助け合う気持ちを子供の頃から育ててほしい。(60代女性)
- ・私は、男の人が得意な事は、男性がやり、女性でもやりたい人がいれば、やればよいと思います。子育ては、夫婦で協力するのがベストですが、乳幼児を預け働く母親が増え、寂しい思いをしている子供達が増え、大人になって犯罪や思いやりの欠けた人間が増えたと思います。男女平等ではなく、共同は良いと思います。子供のそばに、いつも誰か信用できる大人がいられる様な環境作りが必要だと強く思います。(20代女性)
- ・東大和市は保育施設等の対応力が低い。福祉介護の施設も他市に比べ劣る。児童不足で空きスペース多い小、中、高等学校を保育、介護、老人福祉施設に使える様に都政関係官署に働きかけるぐらいのことは、率先してやってみては。(70代男性)
- ・出産後の女性が働くこと、(以前と同様の仕事、新たに始める仕事)を支援する体制を整えてほしいと思います。一歩踏み出すきっかけ作りも必要です。企業、事業者への働きかけも(就労時間や体制など柔軟な働き方が可能となるような)望まれます。男女平等意識の普及(互いを理解尊重し合う)啓蒙活動を広く行っていただきたい。(40代女性)
- ・男性、女性と表現することが差別していること。一社会人としてどう有るべきかを一人一人が考え実行すれば良い事と思います。(60代男性)
- ・一応アンケートに記入しましたが、地域活動に参加できる余裕が無ければ参加できません。年金暮らしになり、その年金もごく僅か、生活していくだけでギリギリ、とうとう今年は市・都民税の通知もありません。会費ゼロ円の会であれば参加可能なのですよ。(60代女性)
- ・人生の先輩の智恵も参考にして、皆が助け合いの精神も生まれるとよいと思います。(60代女性)

- ・市役所に、女性管理職を増やすことから始めることが必要と思う。(50代男性)
- ・男だから～、女だから～と決めつけるのではなく、互いに認め合って生きていくことが大切なのだと感じました。(30代女性)
- ・私は現在結婚しているにもかかわらず、夫とは家事を半分ずつ、仕事もお互いにもっており男女平等な生活をしております。とても自分の生活に満足しています。(夫の考え方に感謝しています。)(40代女性)
- ・このアンケートは本当に「無作為」に選んだのですか?!市の職員の中で内密な情報等もれていたのではないですか?!本当に「守秘義務」は守られているのですか?!「守秘、守秘」と言っていた職員を疑います。もちろん、その人(市職員)のことを信じたいですけど…。(40代女性)
- ・あえて、市として何が出来るか、やっているかを広報するのであれば、駅やスーパーに手に取りやすい案内板を用意した方が効果的だと思います。(新聞の折り込みはマンネリになって読まれません。)新市長さんになって改革をされている、しようとしている意欲が伝わってきます。がんばって!(60代男性)
- ・市民が気軽に利用できる場所、できたらチョットおしゃれなテラス等がある開放感たっぷりの建物を作ってほしい!玉川上水駅付近は、人口が増えて特に交流の場が桜が丘市民センターだけでは、広さも不十分に思います。南公園を望める魅力的な空間が作れないものでしょうか?そこから交流が、芽生えたらいいですね!(70代女性)
- ・弱者を助ける取り組みに力を入れてください。よろしくお願いします。(40代男性)
- ・女性自身も働くという事に対しての思いがないと思います。市で職業サポートを積極的にし、家でじっとしている女性を働くという事を意識させるべき。(20代女性)
- ・権利ばかりの主張にならないようお願いします。(30代男性)
- ・このアンケートの内容は、送付人にあっていない物が多いので年齢、性別を調べてから送付した方が参考になると思う。せっかく公費を使うのだから、ただ不特定多数に送れば良いというものでもない。(60代男性)
- ・未婚のためよくわかりませんでした。先のこともよくわからない。仕事が忙しく地域のこともわかりません。(30代女性)
- ・男女共同参画の機会を多く設けて下さい。(60代男性)
- ・職業による結婚差別をなくすことが肝要と考えます。特に大農家に嫁ぐ女性が少なすぎます。(60代男性)
- ・自分勝手に結婚し、子どもを産んで離婚して、市や国に援助してもらおうという考えはやめてほしい。(40代女性)
- ・問17～23までは、男性なので答えませんでした。(60代男性)
- ・問25で、推進事業を市報で少し見ただけで、よく知りません。市報、HP以外で知ることが出来るものはありますか?(30代女性)
- ・10年前には、今のような制度があまり浸透していなく、男女平等に対して世間的にも知られていなかったように感じますが、今は、その頃よりも男女平等を意識する(した)制度、会社体制etcになってきている気がします。ただ、男・女それぞれの特性を生かした制度もあって当然であるし、全てに関し「平等(共同)にする」のは、本当の男女平等(共同)ではないと感じますので、今後は、その点を考えて頂ければ、より良い施策の検討につながるのではないかと思います。乱筆ですみません…。(30代女性)

- ・リプロダクティブ・ヘルツ／ライツの解説が直訳の文章のようで女性の権利と説明されても、何か実感できない、こちらの気持ちに届いてこない。(60代女性)
- ・市がこう言うテーマで行動している事すら知らなかったので、もっと市民に解りやすく説明した方がいいと思う。(50代男性)
- ・障害者でも安心して生活が出来る様に考えていただきたい。気軽に相談できる(場所、人)があるとありがたいけど。介護の施設に入りやすくしてほしい。お互いに出来る仕事はやっていきたい。(50代女性)
- ・このアンケートを書き込むうちに自分の中でも色々な矛盾を持っていることを痛感した。男性が出産もできる時代が来ないかぎり、人間平等はあっても男女の仕事(役割)平等はあり得ない。(60代女性)
- ・活動がよくわからない。(50代女性)
- ・「ワーク・ライフ・バランス」とか「リプロダクティブ・ヘルツ／ライツ」この様なカタカナ語で解らない用語で書いてある文章は、めんどろで読む気がしない。(70代女性)
- ・現在介護されていますが、ある程度自分でする事が出来ます。高齢の為、記入がありません。子供達と一緒にいます。(80代男性)
- ・59歳で東大和市民となり現在79歳になりますが、今回のアンケートに選ばれても有意義な回答にする立場はないのでお役に立てなくて申し訳ありません。新宿区から移り住み空気を緑に恵まれ東大和市に住んで良かったと思っています。地元との接触がなく友達のもと住んでいた所の人だけで残念です。(70代女性)
- ・このようなアンケートを取ることはすばらしいことだと思います。結果を活かしていただきたいと思います。また、東大和市のこのような取り組みについて全く知りませんでした。新聞を取っていない家庭へも、せめて市報の投函をお願いしたいと思います。(30代女性)
- ・このようなバイアスのかかったアンケートはぜひ止めてもらいたい。このアンケートからは、特定の方向にアンケートをユウドウする意思を感じます。(50代男性)
- ・けっこうな量の質問に答えるのに、かなり時間がかかりました。男女平等について画策されるのもよいですが、他人の時間を浸食しているという意識は持たれていないのでしょうか？もっと質問を厳選して量を減らすか謝礼を添えるべきではないのでしょうか？男女間に限らず人としての権利を尊重する姿勢を見せていただきたかったです。「上から目線」の要請にがっかりです。(40代女性)
- ・男も女も人間として成長してほしい。広い心と広い視野、考えの柔軟さと判断力、行動力があることが理想ですが、家庭、学校、社会、全ての場でこんな人が育っていく様子、日本風土になってほしい。若い男性や女性が多いこと！！常に融和と前進、共に生きる建設的(破壊的でなく)な社会になっていく様、人材育成に尽力してください。(70代女性)
- ・本事業に対して、どれくらいの予算を計上しているのか示して欲しい(本アンケート)。そうすることで、もっと事業内容がわかりやすくなるのではないかと感じた。(40代男性)
- ・男女平等をどんどん行えるようお願いします。(30代男性)
- ・審議会や委員などは男女同比率でも良いと思いますが、教職員などの雇用に関わるものは、実力に応じて採用するべきだと思います。(女性優遇のおそれがあります)。母子家庭に対する補助があるのに、父子家庭に補助がない事があるのはおかしいと思います。性差ではなく収入差等できちんと決定するのが良いと思います。学費、医療費、老後の費用(年金等)の問題が緩和されれば、ワーク・ライフ・バランスを自由に考えることができるようになるのではないのでしょうか。(3

0代女性)

- ・推進する必要はない。(40代男性)
- ・男の人と女の人の給料を同じにしてほしい(対等にしてほしい)。1回働いたところで病気になり、またそこで再就職ができるようにしてほしい。(30代女性)
- ・自営業(小売)の生活の苦しさに目を向けて欲しい。働いても、働いても、高額な税金を払うだけで何の保証もない。(40代女性)
- ・男女が共に協力をしながら生きていく事は大切なことだと思います。男女平等という言葉がでると女性中心に考えがちですが、男性も同じように考えれば、本当の男女平等が考えられるのではないのでしょうか。私自身も協力できることがあれば、協力させて頂きたいです。もし私に子供ができれば、その子がよりよく住み易い社会にするためにも。(40代女性)
- ・こういうアンケートがあれば、考える機会や知る機会が増えるのでよいと思った。子供にとっては母親の存在が父親より大きいと考えているので、いちがいに男女平等というわけにはいかないと思う。簡単に解決できる問題ではないと思う。自分勝手な考えかもしれないが、せめて小学校卒業くらいまでは、子供の側に母がいて欲しい。(30代男性)
- ・女性の権利や人権が守られ、人間として男性と対等に生きていくためには、もっと国の大本から変えなければならない。国会議員をはじめ、議員の数を半分に近付ける(段階的に20%→30%→50%)。労働者の賃金を男女同じにする等、そのための法律を作るなりチェック機構を作るなりして、政策としてやっていかなければ、女性の立場は向上しない。男性の女性に対する気持ちの変容を期待した意識づくりだけでは、長い間の女性差別はなくなるならない。アンケートは、自由記述式にした方が書きやすい。女性として生きてきて「①仕事の面で困ったこと②家庭で困ったこと③地域で困ったこと」にすると書きやすい。その3本柱で記入されたものを集計すれば、市としてどんな対策が必要か多くの人がどんな事を希望しているのかが、おのずとまとまってくるのではないかと思う。都の問題、国の問題だったら都や国に報告申請する方向でがんばってほしい。いろいろ書きましたが、60年以上生きてきましたが、女性の地位は向上しつつあるとは思いますが、まだまだ男性との差が歴然とあり、残念に思っております。最後に市としてできることで、男女共同参画に最も効果的なものとして公立保育所をたくさん増やすことが大事だと思います。安心して子どもを預けられる保育所があれば、女性だって働きたい人は、多いはずです。(60代女性)
- ・行政として男女共同参画に協力して施策して、そして、力量の補足をして下さる方向はありがたいのですが、そのこの入口に入るまでの若い層の人々(男女)、老いた封建時代の一部をかざす人間が理解し合うのは、かなりの話し合いや時間が必要とされると思います。でも、このままの社会の空気は修正が望まれます。継続は大切です。(70代女性)
- ・質問が適切でないものがある。(80代女性)
- ・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(どこの国の言葉?)などの多用に違和感をおぼえます。日本語の方がいいと思います。(60代女性)
- ・どのような活動かわかりません。自身はあまり女性差別など感じたことはないのですが、あまり興味がありません。(40代女性)
- ・産休中の社員も1人として頭数に入っており、補充はもちろんありません。他社員の負担が増える訳で、当然のように産休を主張する姿勢に問題ありと感じることもしばしばあります。権利を主張することで自身の立場を崩すことも踏まえ、男女平等を考えてほしいと思う。私は出産時仕事を変えました。0歳から保育所育ちの息子には、家事もさせています。(50代女性)

- ・子育ても終り、今回のアンケートは自分には的違いな気持ちです。若い頃は、男性の家事参加を願っていましたが、夫もリタイヤした今、自分のできることはやり、家事も分け合っているので別れることなく二人で暮らしています。会社、社会にいる時は、ダメな夫でした。自分が食べさせているとよく言われました（くやしい〜）。退職を期に平等になりました。ホットしています。（60代女性）
- ・この意識調査を元に市がどんな活動をしようとしているのかよく分らない。市が今まで男女共同参画について取組んできたと記載があるが、どんな取組みをしてきたのか不明なので市民の目に見える活動をしないと何も活動していないのと同じだと思う。市民の目からみても分かる活動をしないと税金のムダだ。（40代女性）
- ・私は、市の男女共同参画事業には無関心でした。私は、子供2人を0歳から保育所や保育ママに預けて共働き、年寄りとの生活でしたが、病気の際は1日病院に行くので休みましたが、あとは年寄りが見てくれてその病気の治る時まで見てもらい、とても助かりました。夫は協力的で、病院に行ったりする時は車で連れて行って助かりましたが、病気の際に休んでもらったことは1回もありません。大変な子育て、洗濯、食事作りでした。今考えるとよくやったと思います。育児休業はありましたが持ち出しが多く、1ヶ月間だけ、下の子の時に取りました。68歳1人暮らしで健康ですが、いつ病気になるか心配です。60歳すぎの病気になっていない人に対して歩けなくなるとか寝たきりにならないための教室などを各所で開いてほしいと思います。自分でやるのは難しいので、病気になられるよりずっと費用が少なくて済むと思います。大切な事ですのでお伝えください。（60代女性）
- ・小さな子のいる共働き世帯では、市の広報などに目をやる余裕はなく、せっかく開催していただくフォーラム等の情報もほとんど見逃している状況です。広い世代に興味深い内容で企画するとともに、様々な形で宣伝（例えば、保育園や学童からチラシを各家庭に届けていただく）することで、意識が高まるとよいですね。また、当日の保育は必須です。（30代女性）
- ・このような言葉、活動をこのアンケートで知りましたので、特に意見はありません。（40代女性）

